

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	晴陵リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 晴陵医療学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	87 単位	9 単位	
	作業療法学科	夜・通信	102 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.seiryu-reha.ac.jp/about/opendata/opendata02/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	晴陵リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 晴陵医療学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.seiryu-reha.ac.jp/about/opendata/opendata03/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人常務理事 私立病院長 医師	令和4年1 月22日～ 令和7年1 月21日	学生管理 インターンシップ
非常勤	医療法人常務理事 私立専修学校長 医師	令和4年1 月22日～ 令和7年1 月21日	学校運営
非常勤	私立病院長 医師	令和4年1 月22日～ 令和7年1 月21日	インターンシップ
非常勤※	私立病院長 医師	令和4年1 月22日～ 令和7年1 月21日	学生管理 学校運営 インターンシップ
(備考) ※評議員選任理事			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	晴陵リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 晴陵医療学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)の作成は、学校関係者評価の意見を取り入れ、学内担当者が各授業教員と編成及び調整を行なう。 取りまとめたものを専任教員がチェックし、教育会議にて承認。 毎年、前年度9月より作成開始、2月に完成。 学生には新年度オリエンテーション(3月実施)にて冊子を配布。 一般にはホームページ上で公開をする(3月更新)。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>http://www.seiryou-reha.ac.jp/about/opendata/opendata04/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに記載されている成績評価(試験、提出物、レポート、出席状況等)及び晴陵リハビリテーション学院学則細則に従い、100～80点(優)、79～70点(良)、69～60点(可)、60点未満(不可)の区分で各科目を評価。教育会議で承認。 進級に関しては学則第27条(卒業又は進級の認定は、学業成績の評定及び出席状況に基づき教育会議の議を経て行なう。学生は以下の一つに該当する場合は原則として進級又は卒業することができない。1. 100点満点中、60点未満の科目がある者、2. 当該学年において3分の1以上欠席した者、3. 学科試験において不正行為のあった者。)、卒業に関しては学則第27条及び28条(本学院の修業課程を修了した者には卒業証書を授与する)に従い、教育会議にて承認を行う</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) シラバスに記載されている成績評価(試験、提出物、レポート、出席状況等)及び晴陵リハビリテーション学院学則細則に従い、100～80点(優)、79～70点(良)、69～60点(可)、60点未満(不可)の区分で各科目を評価。学科、学年ごとに個人平均点数を用い、分類・分析を行う。 学期末、年度末には個別に成績を渡し、成績不良者については個別面談、三者面談(学生、保護者、教員)にて指導を行なう。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://www.seiryou-reha.ac.jp/about/opendata/opendata05/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定に関する方針はディプロマポリシーとして定め、ホームページに公開する。 ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針) 本学院は、誠実な人間性と自ら学ぶ姿勢を身につけ、社会に幅広く貢献できる人材の育成をするために、次のような目標を達成し、所定の課程を修めた者に学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法・作業療法に必要な基礎・専門基礎知識を修得している。 2. 理学療法・作業療法に必要な専門知識・技能を修得し、実施が可能である。 3. 対象者を理解することができる真摯な態度を身につけている。 4. 関係する人々と適切なコミュニケーションをとる努力をする。 5. 必要な報告・連絡・相談を行い、他者と連携・協力する姿勢を示せる。 6. 自らの行動を振り返り、他者からの指摘を受け入れ、行動修正しようと試みる。 7. 基本的な素養(獲得された知識と理解を活用し、能力を発揮するとともに社会人基礎力を培っている)をもち自らの職業価値を意識し、社会貢献を志向している。 卒業に関しては学則第27条(卒業又は進級の認定は、学業成績の評定及び出席状況に基づき教育会議の議を経て行なう。学生は以下の一つに該当する場合は原則として進級又は卒業することができない。1. 100点満点中、60点未満の科目がある者、2. 当該学年において3分の1以上欠席した者、3. 学科試験において不正行為のあった者。)に従い、教育会議にて判定、承認。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://www.seiryou-reha.ac.jp/about/opendata/opendata06/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	晴陵リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 晴陵医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.seiryou-reha.ac.jp/about/opendata/opendata07/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科(単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	114単位	87単位	5単位	20単位	0単位	2単位
			114単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		83人	0人	7人	53人	60人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業には、医師、理学療法士、作業療法士や患者などに協力頂き、臨床現場を伝えられるような内容を盛り込む。現場見学なども含め、学生の未来像を描けるよう職業教育を行なう。カリキュラムマップ、授業計画（シラバス）の作成は、学校関係者評価の意見を取り入れ、学内担当者が各授業教員と編成及び調整を行なう。取りまとめたものを専任教員がチェックし、教育会議にて承認。毎年、前年度9月より取組、2月に完成。学生には新年度オリエンテーション（3月実施）にて冊子を配布。一般にはホームページ上で公開をする（3月更新）。
成績評価の基準・方法
（概要）シラバスに記載されている成績評価（試験、提出物、レポート、出席状況等）及び晴陵リハビリテーション学院学則細則に従い、100～80点（優）、79～70点（良）、69～60点（可）、60点未満（不可）の区分で各科目を評価。教育会議で承認。進級に関しては期末試験点数、出席状況等から教育会議において判定する。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業又は進級の認定は、学業成績の評定及び出席状況に基づき教育会議の議を経て行なう。 学生は以下の一つに該当する場合は原則として進級又は卒業することができない。 1. 100点満点中、60点未満の科目がある者、2. 当該学年において3分の1以上欠席した者、3. 学科試験において不正行為のあった者。 卒業の認定に関する方針はディプロマポリシーとして定め、ホームページに公開する。

<p>ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）</p> <p>本学院は、誠実な人間性と自ら学ぶ姿勢を身につけ、社会に幅広く貢献できる人材の育成をするために、次のような目標を達成し、所定の課程を修めた者に学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法・作業療法に必要な基礎・専門基礎知識を修得している。 2. 理学療法・作業療法に必要な専門知識・技能を修得し、実施が可能である。 3. 対象者を理解することができる真摯な態度を身につけている。 4. 関係する人々と適切なコミュニケーションをとる努力をする。 5. 必要な報告・連絡・相談を行い、他者と連携・協力する姿勢を示せる。 6. 自らの行動を振り返り、他者からの指摘を受け入れ、行動修正しようと試みる。 7. 基本的な素養（獲得された知識と理解を活用し、能力を発揮するとともに社会人基礎力を培っている）をもち自らの職業価値を意識し、社会貢献を志向している <p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>個人面接、補習の実施</p> <p>特待生制度の実施</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	29人 (85.3%)	5人 (14.7%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>医療系（病院、リハビリ専門施設、福祉施設等）</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>求人票の見方、履歴書の書き方、面接指導等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>理学療法士</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
100人	5人	5%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学業不振、進路変更等</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>三者面談、個別面談、補習等の実施、職業啓発のための現場見学の実施</p>		

①-2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門分野	作業療法学科(単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		127単位	77単位	24単位	22単位	0単位	4単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	29人	0人	7人	69人	76人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 授業には、医師、理学療法士、作業療法士や患者などに協力頂き、臨床現場を伝えられるような内容を盛り込む。現場見学なども含め、学生の未来像を描けるよう職業教育を行なう。カリキュラムマップ、授業計画(シラバス)の作成は、学校関係者評価の意見を取り入れ、学内担当者が各授業教員と編成及び調整を行なう。取りまとめたものを専任教員がチェックし、教育会議にて承認。毎年、前年度9月より取組、2月に完成。学生には新年度オリエンテーション(3月実施)にて冊子を配布。一般にはホームページ上で公開をする(3月更新)。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) シラバスに記載されている成績評価(試験、提出物、レポート、出席状況等)及び晴陵リハビリテーション学院学則細則に従い、100～80点(優)、79～70点(良)、69～60点(可)、60点未満(不可)の区分で各科目を評価。教育会議で承認。進級に関しては期末試験点数、出席状況等から教育会議において判定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 概要) 卒業又は進級の認定は、学業成績の評定及び出席状況に基づき教育会議の議を経て行なう。 学生は以下の一つに該当する場合は原則として進級又は卒業することができない。 1. 100点満点中、60点未満の科目がある者、2. 当該学年において3分の1以上欠席した者、3. 学科試験において不正行為のあった者。 卒業の認定に関する方針はディプロマポリシーとして定め、ホームページに公開する。</p> <p>ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)</p> <p>本学院は、誠実な人間性と自ら学ぶ姿勢を身につけ、社会に幅広く貢献できる人材の育成をするために、次のような目標を達成し、所定の課程を修めた者に学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法・作業療法に必要な基礎・専門基礎知識を修得している。 2. 理学療法・作業療法に必要な専門知識・技能を修得し、実施が可能である。 3. 対象者を理解することができる真摯な態度を身につけている。 4. 関係する人々と適切なコミュニケーションをとる努力をする。 5. 必要な報告・連絡・相談を行い、他者と連携・協力する姿勢を示せる。 6. 自らの行動を振り返り、他者からの指摘を受け入れ、行動修正しようと試みる。 7. 基本的な素養(獲得された知識と理解を活用し、能力を発揮するとともに社会人基礎力を培っている)をもち自らの職業価値を意識し、社会貢献を志向している。
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>個人面接、補習の実施</p> <p>特待生制度の実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
（主な就職、業界等） 医療系（病院、リハビリ専門施設、福祉施設等）			
（就職指導内容） 求人票の見方、履歴書の書き方、面接指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	3人	8.3%
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 三者面談、個別面談、補習等の実施、職業啓発のための現場見学の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法 学科	400,000 円	800,000 円	400,000 円	
作業療法 学科	400,000 円	800,000 円	400,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度 (授業料減免)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.seiryou-reha.ac.jp/about/opendata/opendata08/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 病院・施設等との連携を通じて必要な情報を把握分析し、シラバスの作成など教育及び学校運営に活かす。 評価項目は教育・理念目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献 評価委員は①業界全体の動向や地域産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員、②専門分野に関する学会や学術機関の有識者、③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員、①又は②より1名、③より2名		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人立川メディカル センター常務理事 晴麗看護学校長	令和6年3月21日～ 令和7年3月20日	①
悠遊健康村病院リハビリ テーション科技師長	令和6年3月21日～ 令和7年3月20日	③
介護老人保健施設 悠遊苑 リハビリテーション科主 任	令和6年3月21日～ 令和7年3月20日	③
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.seiryou-reha.ac.jp/about/opendata/opendata09/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
リハビリテーション教育評価機構 (5年毎) (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.seiryou-reha.ac.jp/about/opendata/opendata10/		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.seiryou-reha.ac.jp/>